

みんなで支える



国民健康保険

一人ひとりの健康管理で医療費を大切に

問い合わせ先 市民課 国保医療係 ☎43・6813

国民健康保険(国保)は、病気やケガをしたときに安心して医療が受けられるように、加入者が国民健康保険税を出し合い、お互いに助け合う制度です。国民健康保険制度は、加入者に収めている国民健康保険税と、国・県・市の公費で運営しており、保険税収入は重要な財源です。しかし、団塊世代の退職者の増加や急速な高齢化の進展、医療技術の高度化による医療費の増加などに伴い、保険給付費が膨らみ、厳しい財政状況が続いています。

- 02ーみんなで支える国民健康保険
- 05ー赤穂市議会 議長に藤本氏
副議長に家入氏 ほか
- 06ー進めよう わが家の耐震改修 ほか
- 08ー赤穂子どもプラン取組状況を報告します ほか
- 10ー5月・6月の60周年記念・協賛事業 ほか
- 12ーフォトニュース
- 14ー赤穂市ふるさとづくり寄付金
寄付状況等をお知らせします ほか
- 16ー東備西播定住自立圏 民間イベント等
支援事業が決定しました ほか
- 18ー情報コーナー
- 22ー社協だより
- 24ーくらしのカレンダー

本市の国保の状況は

平成21年度の医療費は、約44億円
前年度比4千万円の減

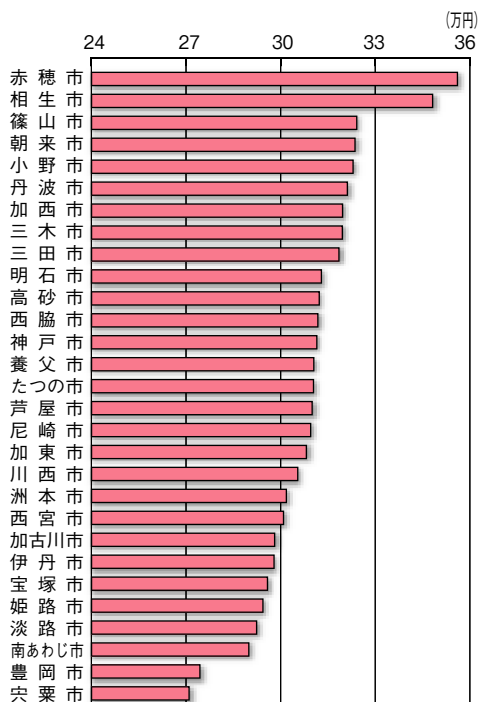
国保加入者が病気やケガで医療費にかかった費用は、高齢受給者の医療費の伸び、生活習慣病の増加などにより年々増加していましたが、平成21年度は医療制度改革に伴う影響や被保険者数の減少等により一定の改善をみえています。

しかし、依然として厳しい状況が続いていること変わりなく、また平成22年度の診療報酬改定による影響や団塊世代の退職に伴う加入者数の増加により、医療費は増加する傾向にあります。

一人当たりの医療費

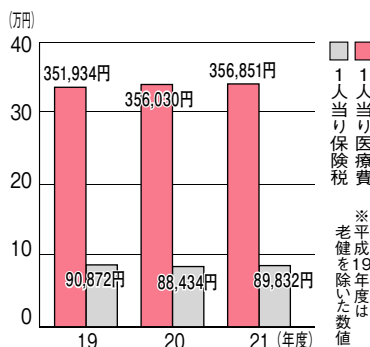
平成21年度の被保険者の一人当たりの医療費は35万6,851

国保1人当たり医療費比較(平成21年度)(図2)



円の前年度に比べ821円増加しています。それに伴う保険税は、介護保険分と合わせて、一人当たり8万9,832円となっています(図1)。また、兵庫県の他都市と比較すると、一人当たりの使った医療費は、平成21年度も引き続き県内29市中、第1位と非常に高くなっています(図2)。

国保1人当たり医療費と保険税の推移(図1)



人口の動き(3月)

住民基本台帳登録者人口

世帯数	19,813戸	(+ 22)
人口	50,949人	(- 66)
男	24,605人	(- 29)
女	26,344人	(- 37)

◎3月中の異動

出生	28人(- 9)	転出	291人(+195)
死亡	47人(+ 10)	その他増	1人(+ 1)
転入	247人(+177)	その他減	4人(+ 4)

交通事故発生状況

区分	3月	平成23年累計
発生件数	105 (- 18)	351 (+ 35)
人身	15 (- 5)	58 (- 2)
物損	90 (- 13)	293 (+ 37)
死者	1 (± 0)	2 (± 0)
重症	0 (- 4)	6 (- 3)
軽傷	17 (+ 2)	58 (- 2)

火災・救急状況

区分	3月	平成23年累計
火災	3 (± 0)	5 (- 1)
救急	146 (+ 27)	456 (+ 29)

火災発生時での問い合わせは ☎43・6899 まで